

図書館の窓

2012.12

ちょっとお得な情報をお届け中です

もっと多くの人に図書館を知って使いこなして欲しい、緊急のお知らせを伝えたい…
そんな思いからTwitterやFacebookで情報発信している図書館・室の声をお伝えします!

附属図書館
SNS

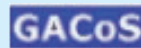
Twitterでつぶやいています。

FOLLOW US!



東京大学駒場図書館
@Todai_KomabaLib

より多くの方に図書館からの情報を伝えたいと思い、始めました。開館時間・閉館日(入口でのUターンが減ると嬉しい!)・講習会・ジュニアTA募集・データベースの休止/障害情報などをつぶやいています。**フォロワーは、1・2年生を中心に毎日少しずつ増えて、1,000に到達しました!**駒場図書館を利用される方、ぜひ気軽にフォローしてみてください。



東大GACoS
@gacos_todai

レポートや論文準備に役立つよう、文献検索や文献管理ツールの講習会を定期的で開催しています。**講習会の情報をタイムリーに直接お届けするためTwitterを始めました。**急な追加開催や、予約制「夜間ガイダンス」の開催有無、データベース情報もつぶやいています。講習会を受講された方は、「@gacos_todai」で感想をつぶやいていただくと嬉しいです。



東大数理図書室
@utms_library

もともとブログで情報発信をしていましたが、より利用者に近い情報発信ツールとしてTwitterを始めました。**数学関係のことをつぶやくと反応があったり、落とし物についてつぶやくと取りに来てくれたりと、反応があると嬉しいです。**図書室からのお知らせはもちろん、職員のつぶやきもあり、硬すぎないところが数理図書室Twitterの特徴です。皆さんもぜひフォローしてください。



東京大学農学生命科学図書館
@Todai_AgLib

東日本震災をきっかけにTwitterの活用を考え始めました。利用情報だけでなく、新着雑誌や図書のトピックス、農学部教員の研究情報や農学部主催イベントなどの農学系情報を流しています。英語でもつぶやいています。**当館で人気のあるリユース図書コーナーの入れ替えもTwitterでいち早くお知らせしています。**お宝古書をGetできるかもしれない情報をお見逃しなく。

柏図書館ブックトークはFacebookで広報

東京大学柏図書館ブックトーク <https://www.facebook.com/Todai.lib.k.booktalk>

柏図書館では、本の著者にその本について講演していただく「ブックトーク」を行っています。Facebookページでは、ブックトークのお知らせ、テーマと関連した柏図書館所蔵の本の紹介やそれらの本の展示の様子、当日の様子や講演内容に関連した話を掲載しています。館長の大和裕幸先生からの投稿もあります。学外からも好評で、当ページを見てブックトークにご来場された方もいました。柏に馴染みの無い人もアクセスしてみてくださいね。



12月5日(水)開催の塚本勝巳教授(大気海洋研究所)によるブックトーク「ウナギ 大回遊の謎」は大盛況のうちに終了しました。次回もお楽しみに!

平成24年度東京大学附属図書館特別展示

鷗外の書斎から

ー生誕150年記念 森鷗外旧蔵書展ー

今年度の特別展示では、生誕150周年にあたる明治の文豪・森鷗外の旧蔵書を10月18日(木)～11月16日(金)、総合図書館3階ロビーで展示・公開しました。総合図書館所蔵の鷗外文庫は関東大震災後に鷗外の遺族から寄贈されたものですが、今回は鷗外が書入れをした蔵書や自筆本の他、蔵書の裏貼りにもちいられた母親への手紙など、貴重な資料70点が展示されました。また、11月2日(金)には総合図書館洋雑誌閲覧室で今回の展示についてご指導いただいた、東海大学文学部の出口智之講師に「鷗外と書物」と題してご講演いただきました。鷗外旧蔵書が展示されるのは2007年以来であり、多くの方が観覧されました。今回の展示内容は附属図書館ホームページで公開しているほか、書入れ本・自筆本は「鷗外文庫書入れ本画像データベース」(<http://rarebook.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/ogai/>)でもご覧いただけます。



法学部研究室図書室 リニューアル、正式オープン



2012年9月13日(木)、法学部3号館の耐震改修工事のため2010年1月から利用制限を行っていた、法学部研究室図書室が正式に開室しました。改修後の法学部研究室図書室は、外国法令判例資料室が図書室内に収まり、カウンターも一カ所になりました。また、判例室・参考資料室はオープン・スペースとし、どなたでもご利用いただけるようになりました。さらに、6層の書庫には資料保存のため空調設備を備えると共に、集密書架を設置し、収容可能冊数を約30万冊分増加させることができました。



第11回 東京大学ホームカミングデイ 附属図書館主催イベント シンポジウム 「東大新図書館を考える:文字・書物・読書の現在」

10月20日の東京大学ホームカミングデイにあわせて、総合図書館でシンポジウム「東大新図書館を考える:文字・書物・読書の現在」が開催されました。基調講演では榊山紘一印刷博物館館長から「図書館は文化の貯水槽」と題して、図書館の機能を貯水池になぞらえてご講演いただきました。その後、石田英敬副館長による新図書館構想の説明があり、さらに大木康所長(東文研)、佐藤健二副研究科長(文)、葛西康德教授(文)、中村雄祐准教授(文)を加えてパネルディスカッションが行われ、それぞれの研究者の視点から新しい図書館に期待する機能として、斬新で多様な提言がありました。



Academic Commons Project



『それから』の白くない白百合 再考

7月30日、理学系研究科の塚谷裕一教授をお招きして、夏目漱石の『それから』に描かれる白百合をテーマにお話いただきました。白百合は『それから』の中で、代助と三千代の微妙な心理を暗示する重要なオブジェクトとして登場します。塚谷教授には、物語の進展に従って描かれている白百合が異なる種(テッポウユリとヤマユリ)に同定され、また異なるがゆえによりメタファーとして有効なものになっているとの自説をご紹介いただきました。植物学を専門とする研究者らしい視点から文学作品を読み解く塚谷教授の講演に参加者は感銘を受けた様子で、後半のディスカッションも質問や意見など、参加者からたくさんの発言がありました。



「ユーラシア世界を読む」

9月27日、シリーズ『ユーラシア世界』全5巻(東京大学出版会)完結を機会に編者の三人の先生方にお話いただきました。法学政治学研究科の塩川伸明教授「2つの家族の肖像:ユーラシア世界のある側面」、人文社会系研究科の沼野充義教授「真の<ユーラシア人>か、宇宙的怪人か?」、東京外国語大学総合国際学研究院の小松久男特任教授「モラー・ナスレディンの眼」と、ユーラシア世界の広がりや人の繋がりの面白さが伝わるもので、参加者からは内容に深く関わる質問がありました。また、講師から新図書館構想について、場所としての図書館の大切さが強調されました。

